

# A T O M 能 見 台 だより

毎日の学習の中で、必ず夏休みの課題を行い  
お盆休み前には全てを終わらせましょう！！

2025年8月  
進学個別 ATOM 能見台教室  
TEL 045(783)5552  
FAX 045(349)2273

## 弟妹キャンペーン実施中！

2025年度の前期中間と1学期中間試験で高得点を獲得した塾生の成果をお知らせいたします。

Y中3年 Aさん <b>92点</b> 社会	T中1年 Sさん <b>93点</b> 英語	T中1年 Nさん <b>90点</b> 英語	T中1年 Yさん <b>90点</b> 英語	T中2年 Aさん <b>36点 UP</b> 5科目全て向上	N中2年Mさん <b>62点 UP</b> 5科目全て向上
T中2年 Yさん <b>98点</b> 英語	T中2年 Yさん <b>31点 UP</b> 理科	N中2年 Mさん <b>20点 UP</b> 理科	K中3年 Sさん <b>30点 UP</b> 国語	Y中2年 Mさん <b>25点 UP</b> 理科	T中2年 Tさん <b>25点 UP</b> 社会
T中3年 Aさん <b>24点 UP</b> 英語	N中2年 Kさん <b>83点</b> 英語	A中3年Mさん <b>95点</b> 国語	A中3年Mさん <b>42点 UP</b> 理科	N中3年 Rさん <b>30点 UP</b> 英語	N中3年 Nさん <b>20点 UP</b> 英語
N中3年 Yさん <b>30点 UP</b> 数学	N中1年 Mさん <b>84点</b> 英語	D中3年 Nさん <b>27点 UP</b> 理科	T中3年 Yさん <b>20点 UP</b> 数学	N中3年 Rさん <b>91点</b> 国語	T中3年 Yさん <b>24点 UP</b> 数学
T中3年 Yさん <b>35点 UP</b> 社会	T中 Yさん <b>37点 UP</b> 社会	T中 Rさん <b>22点 UP</b> 数学	T中 Tさん <b>27点 UP</b> 英語	K中 Kさん <b>27点 UP</b> 社会	T中 Sさん <b>21点 UP</b> 理科
N中 Yさん <b>18点 UP</b> 国語	T中 Yさん <b>37点 UP</b> 数学	K高 Hさん <b>25点 UP</b> 化学	N小Kさん 2025/7/12 実施 漢字英単語コンテスト 優秀者	N小Hさん 2025/7/12 実施 漢字英単語コンテスト 優秀者	N小Yさん 2025/7/12 実施 漢字英単語コンテスト 優秀者
N小Oさん 2025/7/12 実施 漢字英単語コンテスト 優秀者	N中Mさん 2025/7/12 実施 漢字英単語コンテスト 優秀者	T中Sさん 2025/7/12 実施 漢字英単語コンテスト 優秀者	T中Kさん 2025/7/12 実施 漢字英単語コンテスト 優秀者	K中Kさん 2025/7/12 実施 漢字英単語コンテスト 優秀者	T中Nさん 2025/7/12 実施 漢字英単語コンテスト 優秀者
K中Eさん 2025/7/12 実施 漢字英単語コンテスト 優秀者	K中Tさん 2025/7/12 実施 漢字英単語コンテスト 優秀者	N小Hさん 2025/7/12 実施 漢字英単語コンテスト 優秀者	N小Yさん 2025/7/12 実施 漢字英単語コンテスト 優秀者	N中Yさん 2025/7/12 実施 漢字英単語コンテスト 優秀者	N中Kさん 2025/7/12 実施 漢字英単語コンテスト 優秀者

※上記は能見台教室のみ実績です。

## 【早坂室長からみなさんへ】

日々の生活の中で、問題があると分かっている、従わなければならない出来事や決まりが多くあります。万人が疑問を挟む余地のない出来事や決まりは存在しません。不確実でも、森の中で迷っているよりは人が歩いた道の後を多くの人は歩こうとします。

哲学者デカルトはここに挑みました。不確実なもの、少しでも疑いをかけうるものは全て疑ってみることにしました。感覚、推理・推論、夢、思考、そして自分の精神の中にあるもの全てを偽と仮定してみました。

全てを疑っていくと、ほとんどのことに疑いをかけることができますが、疑うことをしている自分の存在だけは疑いようがないことに気がきます。ここで「私は考える、ゆえに私はある」という真理を発見するわけです。「方法序説」にはこの過程があっさりと書かれていますが、想像を超えた深くで険しい思考の連続の中で見出した光明のようなものだったと思います。

それは、デカルトがこの真理を「哲学の第一原理」にするという記述からも分かります。彼の探求はさらに「私とは何であるか」に向かいます。疑うことによって「私の存在」が明確であると分かったわけですから、「私」は一つの「実体」であり、本性は「ただ考えること」なのです。

考えることによるのみ、存在できるのが「私」なのです。人間は考えることにおいては何にも拘束されないし、考えることを存在の目的とする人間は素晴らしい、という考え方だと思います。知性そのものと知性を持つ人間への尊厳を感じます。

デカルトはさらに考えます。「私は考える、ゆえに私はある」という真理を語っていることを保証するものは「考えるためには存在しなければならない」ということを私が明晰に見ていること以外には何もない、と結論付けます。

鏡の中の自分を見ている自分がいるという感じです。どこまで探求するの、と揶揄したくなりますが、「考える」ことをするなら、それ以上疑問が起きないレベルまで（疑問は消えませんが）考え抜くということだと思います。400年近く前に書かれた本ですが「考えること」や「人間の存在の意味」など、現代でも違和感を感じません。

私たちは「考える」という活動を普段頻繁に行いますが、その「考える」程度は人によって様々です。せいぜい、目の前にある問題解決に頭を使うぐらいです。

デカルトが考え抜くことができたのは真理探究という明確な目的とそれを支える強靱な意志があったからです。考え抜いた先に自己の存在理由も見えました。私たち一人一人は役割を持って存在しているわけですが、いつも自己の存在意義を考えながら生きているわけではありません。しかし、目的も持たず、考え抜く意志も持たずに生きていると自分の中に軸ができません。

日々の生活の中で、当たり前だと思っているようなことでも、「なぜ、そうなのか」と自己に問う習慣を身につけると、人の行動や社会のルールなどの価値が明確になり、環境に流されずに自己を律する生き方ができるのではないのでしょうか。

●試験が終わって答案用紙を返却されたら、教室に5科目分を持ってきてください。今後の指導方針の検討材料とさせていただきます。また、成績表を渡されたら教室まで持ってきてください。

●早坂教室長の無料勉強会（小中学生対象）9/13（土）、9/27（土）17:20-18:40  
筆記用具とノート、学校のワーク等を持って教室に来てください。  
無料で学力の基礎分野を勉強します。

●2期制・3期制の定期テスト直前勉強会は9/6（土）13時から18時までの間で行います。  
参加は無料です。

●下記時間で自習スペースを開放しています。ぜひご利用ください。平日15時～21時30分、土曜13時～18時30分 ※休講日は自習スペースの開放もありません。ご了承ください。

●日曜日は休校日、9/15（月）、9/23（火）、9/29（月）・30（火）は、指定休講日のためお休みです。